



CHATERED IN
NOVEMBER 21, 1955

THE SERVICE CLUB OF YMCA
THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

2021年11月

札幌クラブ

c/o YMCA
MINAMI 11 NISHI 11
CUO-KU SAPPORO
〒064-0811
011(561)5217

ASF / STEP (Short Term Youth Exchange Programme)

— 主 題 —

国際会長 「世界とともにワイズメン」
 アジア会長 「100年を越えて変革しよう」
 東日本区理事 「私たちは次の世代のために何が出来るか？」
 北海道部部长 「心を高めようパート2 ワイズダムを友情の輪に」
 札幌クラブ会 「踏み出そう 次の一歩」

キム・サンチェ (韓国)
 大野 勉 (神戸ポート)
 大久保 知宏 (宇都宮)
 中村 義春 (十勝)
 柴田 伸俊 (札幌)

札幌クラブ役員
 会 長 柴田 伸俊
 副会長 伏木 康
 書 記 伏木 康
 会 計 秋葉 聡志
 直前会長 宮崎 善昭

今月の言葉

たとえ明日、世界が滅亡しようとも、今日私はリンゴの木を植える。
 マルチン・ルター (中田靖泰選)

利他について考える

札幌クラブ直前会長 宮崎善昭



一般的理解では、利己の対極に利他があつて、利己主義、利他主義なんという言葉もあります。利己主義といえはなんとなくネガティブで暗いイメージで、利他主義はこの逆のイメージを描く人が多いのではないのでしょうか？ YMCAの社会教育観でも利他は、大きな意味を持っていると思います。今日的にも、SDGsやコロナのパンデミック下にあつて利他という言葉が再度見直されています。

宗教的には、キリスト教や仏教(浄土教)でも、利他について「よきサマリヤ人」のたとえ話や「他力本願」などで語られています。これらの宗教を信仰している人にとっては、自分の生き方の中に既に利他は組み込まれているように思いますが、そうでない人にとっては、利他とは何なのかを意識的(理性的)に考えることになりそうです。

意識的に利他についての考えると、どうしても功利主義的に地域的な諸問題や課題の解決について考え、それを数値化してより効率の良い、多くの人々にとって良いことという視点に立つことになります。そして、これらの活動に参加出来た時、多くの人々の為になった、という満足感や達成感に浸ることになります。しかし、結局自己満足であり感謝の

思いを期待するなどの見返りを期待することで、利他ではなく利己ではないかという考え方も出てまいります。

改めて、「よきサマリヤ人」の行いについて考えてみたいと思います。仇敵同士(ユダヤ人とサマリヤ人)の出会いで、サマリヤ人は、意識的(理性的)にユダヤ人を助けることを考えたのでしょうか？ 私は、そうは思いません。彼は、思わず駆け寄ったのです。介抱し宿場の宿屋まで搬送したのです。ここには、数値的、論理的な考えが入り込む余裕はなかったのではないのでしょうか。ひどい目にあつたユダヤ人に共感し、何かによって

(他力というか)突き動かされたのです。そしてその行為は、ユダヤ人が助かればよいという思いだけで、ユダヤ人にどう思われるのかまで考えが及んでいないと思います。ある人が、「信頼とは、相手の行動は予測不能な部分が多々あるが、おそらく私に対して悪意のある行動はとらないだろうと考えることである」と言っています。利他とはそういう意味では相手に対して共感し、信頼することで行われるのだと思います。そして、広範な範囲でなく、人関係の及ぶ狭い範囲内で行われる人間の心の動きとして在りうるのだと考えてみたいと思います。



善きサマリヤ人」レンブラント
ウオレス・コレクション

2021年9月例会 在籍会員 8名 例会出席 7名 メネット 0名 メーカーアップ 0名
 出席報告 ゲスト 1名 ビジター 0名 出席者合計 8名 出席率 88%

札幌ワイズメンズクラブ 2021年11月例会

日時：2021年11月17日（水）18:30～19:30

会場：北海道 YMCA 101 教室

会費：1,000 円

プログラム

- | | | | |
|-----------------|-------|-------|------|
| | 司会 | 副会長 | 伏木 康 |
| ① 開会点鐘 | 会長 | 柴田 伸俊 | |
| ② ワイズソング、ワイズの信条 | 全員 | | |
| ③ 今月の言葉 | 柴田 伸俊 | | |
| ④ ゲスト、ビジター紹介 | 司会者 | | |
| ④ 会長あいさつ | 会長 | 柴田 伸俊 | |
| ⑤ 結婚記念日 | なし | | |
| ⑥ 誕生日 | なし | | |
| ⑦ 卓話 | | | |

「ウエルネスの重要性」

棚瀬 真吾 様

北海道YMCAウエルネスセンタースタッフ
幼少アクアティック・成人フィットネス担当

- | | | | |
|-----------|------|-------|--|
| ⑧ 諸報告 | | | |
| ⑨ YMCA 報告 | 担当主事 | 北川 佳治 | |

- ⑨ 今月の歌

故郷の空

(北川佳治選)



- | | | |
|--------|----|-------|
| ⑩ 閉会点鐘 | 会長 | 柴田 伸俊 |
|--------|----|-------|

何故この言葉を？ 中田 靖泰

この言葉はプロテスタントの始祖の一人であるルターの言葉とされています。西欧世界に君臨していたカトリック教会の批判に立ちあがったルターは「明日世界はあるのか。今、こんなことをしても何の意味もないのではないか」と思うことが幾度もあったに違いありません。しかし、彼はその中で自分の信じるリンゴの樹を植え続けたのです。目先の成果を求めることなしに。その愚直な行為が宗教改革という大きな実を稔らせる最善の路だったのです。私たちワイズもコロナがあろうとも、何があろうとも、未来の世代のためにリンゴの樹を植え続けようではありませんか。

札幌ワイズメンズクラブ10月例会

場所：札幌 YMCA101 教室+GoogleMeet

参加者：柴田、秋葉、北川、中田、伏木、宮崎、
(ゲスト) 山崎修 (卓話者)

(リモート参加ビジター)

石川和弘 (甲府会長)、城井廣邦 (東京むかで)、
桜井浩行 (東京むかで)、藤井寛敏 (東京江東)、
森本栄三 (大阪高槻)、加藤祐一 (町田コスモス)、
中村義春北海道部長 (十勝)、小野健 (札幌)、
重堂幸恵 (部 EMC 事業主査 (十勝) 計 15 名

卓話者に山崎修さんをお迎えして、久々の対面例会となりました。北海道部からは中村部長と重堂事業主査が公式訪問でリモート参加いただきました。また今回は山崎様の卓話を多くの方に聞いていただこうと各クラブに声掛けしましたら下記のワイズが参加いただき例会を盛り上げていただきました。有難うございました。

札幌クラブはリモートと対面の併用例会は何度か経験していますが、今回のような大人数と他クラブからの参加は初めての経験で緊張気味に始まりしました。数か月ぶりのワイズソングとワイズの信条を声に出してみると、新たな気持ちになる不思議な感覚でした。その後山崎さんの卓話に入りました。(詳細は別紙にて)その後参加者の自己紹介をいただき、特に城井様の今回山崎様を札幌クラブに紹介いただいた熱い思いを語っていただき、札幌クラブの力を試されている重圧をひしひしと感じました。頑張ります。そしてご参加の各クラブの皆様、ご支援ありがとうございました。

(柴田記)

ショパン・コンサート復活！

安田文子会員の「時計台ショパン・コンサート」は長年にわたり札幌クラブのファン・レイジングの看板イベントでした。コロナ禍のため、2年間休演を余儀なくされていましたが、この度、北海道もようやく「蔓延防止重点処置」が解除となりました。

万全の予防対策をとり、年内に開催しようと準備を整えています。今回は、会場を時計台から新装なった「札幌キララ小ホール」に移しての開催を計画しています。例会までには、日時その他が決定しています。ご支援宜しくお願い致します。

山崎修氏 入会決定！

10月例会で「思い出と雪のバラード」と題してアルベールビルオリンピックの思い出やスキーに寄せる熱い思いを語って頂いた山崎修氏の入会が決定いたしました。入会式は、入会キットの到着を待って12月例会(12月20日・月)で行われます。山崎氏の入会を機に特に冬のスキープログラムを強化しましょう。

思い出と雪のバラード アルペールビルオリンピックモーグル日本代表 山崎 修

私は北海道の滝川に生まれ、育ち、スキーが大好きな少年時代でした。18 才のころニセコでモーグル競技と出会いました。2年後にはジャパンナショナルチームの一員となり世界大会に出場しました。

1986年から92年の7年間フリースタイルスキーモーグルナショナルチームに在籍し、89,90,92年度の3度、フリースタイルスキーモーグル全日本選手権1位、89年パンパシフィック大会1位（日本人初の国際大会優勝）を獲得しました。

90年ワールドカップ猪苗代大会では9位を獲得しました。これは、ワールドカップ日本人初の桁順位でした。

1990年アメリカレイクプラシッドWCで、日本人歴代初の決勝進出も、コーチはエアリアル練習に同行し、チーム内では誰も現地不在だったという現在では考えられないモーグル創世記の笑えるエピソードもありました。

モーグル競技はフリースタイルスキーのカテゴリで、1992年アルペールビルオリンピックから正式競技となり、男女合わせて日本人は、唯一人出場できました。

その年に全日本選手権3度目の優勝を果たし、有終の美をもって現役引退をすることが出来ました。1998年の長野オリンピックではTVでモーグル解説者を務め、『やったー、タエ』を絶叫し、話題となり、「お茶の間の人気者」と言われたこともあります。



「アッコにおまかせ」に招かれてスキーの魅力、モーグルの魅力を語りました。

私はその後、プロスキー活動に入り、ニセコや世界各国でビデオや雑誌などで活躍、モーグルの普及活動と、誰も滑っていないパウダースノーの魅力を国内に発信しております。



誰も滑っていないパウダースノー！その爽快感をもっと多くの少年少女に味わわせたい。



その後、私は家業である山崎石材にて、新時代のお墓のあり方を提案しています。

今年から、「お墓に想いで引き出しを追加するサービス・想いでサイト」を全国の石材店と共に、世の中に普及活動をして、ご先祖様と子孫をつなぐ新時代のお墓を提案しております。

現在は、「お墓は人生の物語」をテーマに、墓石デザインプロデューサーとして創業133年の山崎石材を運営し、新時代の供養と祈りの空間を演出する努力を続けております。



新しい時代のお墓は如何にあるべきか！山崎石材は探求を続けています。

山崎石材 DESIGN WORKS

スマートシニアシニアパートナー
山崎石材デザインワークス

お墓に家族の「想いで」の引き出しを追加するサービス開始。

お墓が家族の「想いで」を半永久的に記憶します。

碑に刻みきれない人生の物語をネット墓と融合して記憶します。

01. 想いで.com かんたんネット登録
想いで.com QRコードを読み込んで簡単登録できます。
02. 想いでの写真や家族のエピソードを入れる
03. 想いで.comは家族の「想いで」を半永久的に記憶します

YMCA ニュース 担当主事 北川 佳治

① YMCA 国際協力チャリティーイベント (実施報告)

ベトナムに子どもの教室を建設する寄付型プロジェクトとして、去る10月3日(日)、札幌YMCAにて国際協力チャリティーイベントを開催しました。

今年もコロナ禍の対策として、飲食ブースの中止やプライベートスポーツの実施、完全予約制など、限定的な開催となりました。それでも、多くの方が本イベントの趣旨を理解していただきご来場いただきました。札幌クラブは、十勝クラブ中村さんの中村農園で収穫・寄贈いただいた、じゃがいもをワイズコーヒーと共に販売し、9,150円の売り上げとなりました。そして、イベント全体では、目標収支の10万円を上回り159,397円とすることができました。

ご協力、ご賛同いただきました皆様には、心より感謝申し上げます。次年度は、是非例年のような賑やかなバザー形式に戻るようお願いしております。



写真下：フェアトレードのブース。海で回収プラスチック製の製品も。



写真右：密を避けてお行儀のよいピンゴ大会です。

② チャリティーパークゴルフ(実施報告)

YMCAにおける障がい児・者プログラム支援チャリティーとして、去る10月24日(日)に、チャリティーパークゴルフをエルクの森パークゴルフクラブにて開催致しました。

最高の秋晴れの中、コロナ禍で塞ぎがちな日常から解放され、プレイヤーからは歓喜が響き、心身共にリフレッシュできた1日となりました。チャリティーは、14,000円となりました。来年も開催しますので皆さんも是非お気軽にご参加ください。



③ ラッコ・マンボウ水泳発表会(中止報告)

11月23日(祝)に開催を予定しておりました、障がい児・者水泳クラス会員対象のラッコ・マンボウ水泳発表会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止と致しました。次年度は開催できることを願い、メンバー・リーダー共に日々のプログラムに力を注いでいきます。

札幌ワイズメンズクラブ 10月事務会報告

日時：2021年10月26日(火)19:00~20:00(meet)

出席：柴田(長)・中田・伏木・宮崎・北川

A. 11月例会・事務会について

① 11月例会

日時：11月17日(水)18:30~20:30

場所：YMCA 101号室(オンライン併用)

食事：会費/1,000円 ※会食せずに弁当持ち帰り、会場内飲み物のみ用意

卓話者：YMCAスタッフ 棚瀬さん

② 11月事務会：11月24日(水)19:00~20:00

オンライン予定

③ 12月例会 12月20日(月)を予定する。

B. 北海道部関連

① 北海道部全会員交流会について

日時：11月11日(木)19:00~21:30 Zoomによる交流。(参加予定者：柴田、伏木、宮崎、中田)

C. 東日本区関連：

① ワイズナイトフォーラム開催

第2回 10月24日(日)20:00~22:00

2部 パネル・ディスカッション 『チミケップ キャンプ場の活動・・・』

ファシリテーター：山下 真(他パネラー4人)

伏木康メンがパネラーとして10分弱の話をを行った。フリートークでは中田メンが自分がワイズに入るきっかけはチミケップであること、またコロナのおかげで、チミケップキャンプ場を東西日本区に紹介できてよかったと語った。

D. 1月合同例会

ホテル等での合同例会というより、YMCAで例会(対面 or オンラインで)を共にする参加する形式が良いのではないかと。会場はYMCAで行うのが良い。

E. YMCA サービス関連

2) チャリティーパークゴルフ大会 10月24日

会場：エルクの森パークゴルフクラブ

参加者：伏木・秋葉・北川

3) YMCA 会員大会 11月(水・祭)

参加予定：宮崎(来館)・柴田(オンライン)・伏木(オンライン)

F. 山崎さんの入会に関して

山崎さんの入会についてどう進めていくか。中田メン作成の文章をもとに柴田会長と中田メンで山崎さんが来札の際に対面オファーをすることで全員賛成した。(柴田、伏木、北川記)

ワイズの信条

1. 自分を愛するように、隣人を愛そう。
2. 青少年のためにYMCAに尽くそう。
3. 世界的視野をもって、国際親善をはかろう。
4. 義務を果たしてこそ、
権利が生ずることを悟ろう。
5. 会合には出席第一、
社会には奉仕第一を旨としよう。